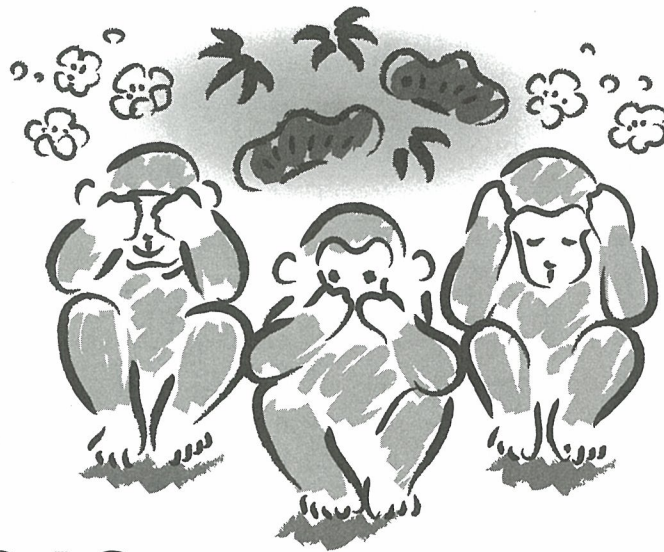




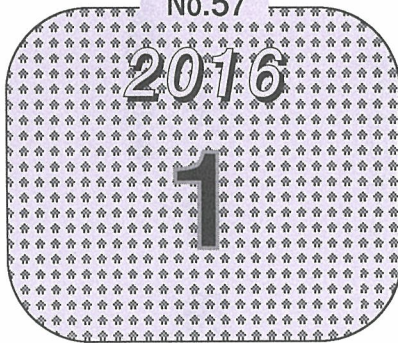
中日本給食だより



迎春

2016

No.57



主な内容

- (1面) 干支・申のカット
- (2面) 新春を迎えて……………愛知県知事 大村秀章
- (3面) 新年の挨拶…中日本学校給食物流通組合連合会会長 青木昌博
- (4～6面) 新年賀詞
- (7～8面) 今年の干支「申」のストーリー
人との関わりの深い「さる」

明けましておめでとうございます
本年もよろしく願いたします

— 中日本学校給食物流通組合連合会 —



新春を迎えて

愛知県知事

大村 秀 章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、リニア中央新幹線、燃料電池自動車FCV、国産初のジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き出した年でした。中でも、十一月の県営名古屋空港におけるMRJの初飛行は、半世紀ぶりとなる国産旅客機の量産という夢を乗せた飛行であり、当地域の航空宇宙産業の発展に大きな弾みとなるものと大変嬉しく思っています。日本の中心に位置する愛知県は、日本一のTechnology（技術）とTradition（伝統）を誇る我が国の産業の中心地、まさにHeart of JAPANです。今年はこの愛知の強みをさらに進化させる年にしたいと思っています。

二〇二七年度のリニア開業を前に、名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・道路など社会基盤の整備を着実に進め、世界に発信する「中京大都市圏」づくりに取り組むとともに、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、さらにはTPP協定の発効も見据えた農林水産業の振興などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

そのためには、「人財力」の強化も重要です。四月開校の県立愛知総合工科高校を核に次代のモノづくりを担う人材の育成に取り組むほか、女性の活躍促進、高齢者や障害のある方々への支援の充実など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

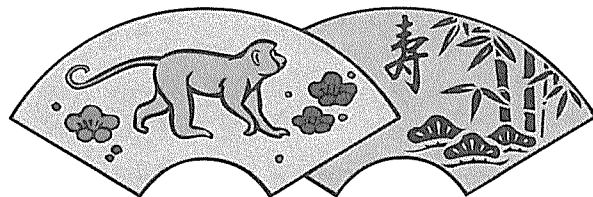
さらには、福祉・医療の充実、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」に向けた取組、スポーツ大会や国際会議の積極的な誘致などとともに、地方分権や行財政改革の推進、東三河県庁を核とする地域振興にも力を注いでまいります。

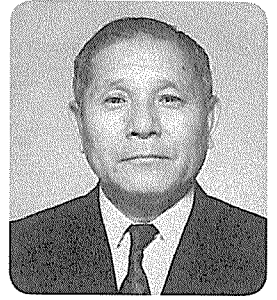
さて、今年五月には三重県で伊勢志摩サミットが開催されます。愛知は、そのゲートウェイとして関係者の受入れに万全を期することはもちろん、これを好機と捉え、産業観光や武将観光、日本一の山車からくりなど、愛知の魅力をしつかりとPRしてまいります。

そして、八月からは、あいちトリエンナーレ、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と、大規模な文化行事を連続して開催する「芸術・アートの年」でもあります。多様な魅力のあふれる文化芸術作品をお楽しみいただきたいと思います。

こうした取組を通じ、愛知の総合力を一段と高め、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十八年元旦





新年の挨拶

中日本学校給食物資流通組合連合会

会長 青木昌博

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、平成二十八年の新春をご清祥のうちにお迎えになられたことと存じ、心よりお慶びを申し上げます。

昨年は国内外において相変わらず激動に揺れる年でありました。ISの侵攻やテロ行為の頻発、中東情勢の不安からシリア難民のヨーロッパへの流出・受け入れ混乱、また南シナ海への中国侵出など、国際的に大きな波風が立っております。

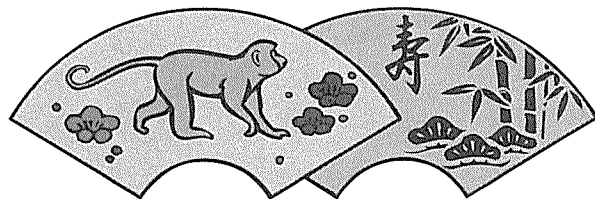
国内の動きを経済面で見ますと、長年の懸案でありました環太平洋連携協定(TPP)が十月に大筋合意、発効が見込まれる段階となりました。政府も「総合的なTPP関連政策大綱」を発表し、中小企業の製品や農産品の輸出支援と安価な農産品の流入で打撃が予想される農業関係者への影響緩和策が打ち出されました。また、二〇一七年四月から実施予定の消費税増税において浮上した軽減税率問題で生鮮食品、加工食品まで含まれるという決定がされ、関連業界にとって一応愁眉が避けられる情勢となりました。

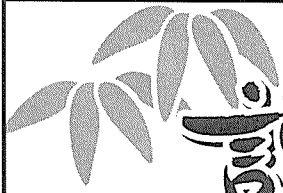
食品業界におきましては、昨年は食育基本法成立から十年という節目にあたり、食育推進施策が見直され、生産者と消費者との交流の促進、教育ファーム学校向け教材・企業向け農林漁業体験導入マニュアルの委託事業など、食育活動が全国的に展開されました。昨春には消費者庁により、食品の機能性に関与する成分の科学的根拠を示すことで表示が可能となった「機能性表示食品」が導入され、この表示導入によって市場の急成長、経済活性化への期待が大きく寄せられました。

また、食をテーマとした「ミラノ万博」が開催され、中部地方からも多くの食品関係の出演・参加があり、日本館の入場者数が百五十万人前後という見通しを超え、二百二十万人という予想以上の人気を呼びました。

こうしたさまざまな話題の中、当連合会といたしましては、学校給食において本旨であります学校給食物資の「安心・安全」と安定供給に積極的に取り組み、九月には工場視察会にて伊那食品工業株式会社社長の塚越寛様より講演をいただき、充実した時間を得ることができました。改めてここに御礼を申し上げます。また、今後もこういった新たな知識や情報を得られる場を設けていきたいと考えております。

本年も連合会に対して格別なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。
平成二十八年元旦



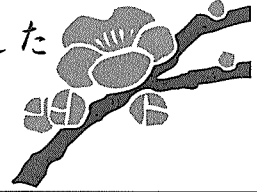


謹賀新春

2016年 元旦

旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

本年もよろしくお願ひします



<p>愛知県産ゆば製造販売 株式会社あいち研醸社</p> <p>代表取締役 中山 孝 夫</p> <p>本社 名古屋市中区栄二丁目十番二十八号 TEL(〇五二)二三二一三三四代 名古屋市熱田区一番丁目六番三十五号 TEL(〇五二)六七一〇九四一</p>	<p>愛知ヨーク株式会社</p> <p>代表取締役社長 平野 豪 治</p> <p>小牧市大字間々原新田字中島五〇〇 TEL(〇五六八)七七三三四一 FAX(〇五六八)七五八七五三</p>	<p>味の素株式会社 名古屋支社</p> <p>名古屋支社長 島本 達 也</p> <p>名古屋市昭和区阿由知通二二三 TEL(〇五二)七三五一八四六〇 FAX(〇五二)七三三一八五二三</p>	<p>味の素冷凍食品株式会社</p> <p>代表取締役社長 吉 峯 英 虎</p> <p>東京都中央区銀座七丁目一四番一三三 日土地銀座ビル TEL(〇三)六三六七七八六〇 FAX(〇三)三五四三一八五六一</p>	<p>一色うなぎ漁業協同組合</p> <p>代表理事 組合長 鵜殿 健 治</p> <p>TEL(〇五六三)七二一八八四七 FAX(〇五六三)七二二〇二一五</p>
<p>伊那食品工業株式会社 名古屋支店</p> <p>支店長 大沢 寿</p> <p>愛知県小牧市小木東一丁目四九 TEL(〇五六八)七五一六六六〇 FAX(〇五六八)七五一六六九九</p>	<p>エム・シーシー食品株式会社</p> <p>代表取締役社長 水垣 宏 隆</p> <p>神戸市東灘区深江浜町三二二 TEL(〇七八)四五一一一四八一 FAX(〇七八)四二二一九三六</p>	<p>大島食品工業株式会社</p> <p>代表取締役 大島 雄 治</p> <p>名古屋守山区小幡南二丁目一五 TEL(〇五二)七九五二〇〇九一 FAX(〇五二)七九五二二五四四</p>	<p>カゴメ株式会社 名古屋支店</p> <p>執行役員 名古屋支店長 宮地 雅 典</p> <p>名古屋市中区錦三丁目十四番十五号 TEL(〇五二)九五一一三五八一 FAX(〇五二)九七一四一〇六</p>	<p>神谷醸造食品株式会社</p> <p>取締役会長 神谷 啓</p> <p>豊田市高岡町巾着二番地 TEL(〇五六五)五一一三二二代 FAX(〇五六五)五一一三二二</p>
<p>ケンコーマヨネーズ株式会社 中日本販売本部</p> <p>本部長 布川 賢 一</p> <p>名古屋市長区一社二丁目一七二番三三 TEL(〇五二)七〇九二二六〇 FAX(〇五二)七〇九二二二〇</p>	<p>会報・自費出版物・名簿等各種印刷 株式会社言文社</p> <p>代表取締役 赤尾 好</p> <p>名古屋西区枇杷島二丁目六―五 TEL(〇五二)五八三一一一四五 FAX(〇五二)五八三一一七五六</p>	<p>コッコ株式会社</p> <p>代表取締役 竹内 隆 之</p> <p>知多市南粕谷新海二丁目十番地 TEL(〇五六九)四二二二二八七 FAX(〇五六九)四二二二二八六</p>	<p>株式会社サンビゴ</p> <p>代表取締役 青木 喜一郎</p> <p>大府市北崎町清水ケ根一三四―一 TEL(〇五六二)四五二二二七二 FAX(〇五六二)四五二二二〇八</p>	<p>三井住友海上火災保険株式会社 三井住友海上あいおい生命保険株式会社 有限会社 さんゆう 代理店</p> <p>代表取締役 坂本 文 一</p> <p>愛知県海部郡蟹江町富吉一丁目一四三番地 TEL(〇五六七)九四一四七七〇 FAX(〇五六七)九四一四七七一</p>

<p>シマダヤ株式会社 名古屋支店長 羽倉 一久 名古屋市中区栄一 二五二一七 ジャパンビル3F TEL (052) 221134六四 TEL (052) 221134六四 FAX (052) 221134六五</p>	<p>中部日本編集センター主宰 中部経済新聞社編集局論説室 和木 康光 名古屋市東区砂田橋三丁目二 大幸東一〇三六〇一 TEL (09) 446817六〇一 TEL (09) 446817六〇一 E-mail: ya.waki@gmail.com</p>	<p>株式会社ニチレイフーズ 中部支社長 徳山 寧 名古屋市熱田区川並町二番十六号 白鳥ビル六階 TEL (052) 681125三〇三 TEL (052) 681125三〇三 FAX (052) 681125三〇三</p>	<p>株式会社華桔梗 <small>ハナキキヨウ</small> 代表取締役 吉村 龍一 名古屋市中川区伏屋二丁目一五 TEL (052) 301178二四 TEL (052) 301178二四 FAX (052) 301178二四</p>
<p>株式会社新川食品 代表取締役 古川 定容 愛北工場 愛知県小牧市河内屋新田上岩倉630 TEL (0568) 72145五二 TEL (0568) 72145五二 FAX (0568) 72145五〇</p>	<p>株式会社津田商店 代表取締役社長 津田 保之 本社 岩手県釜石市鶴住居町第十地割三〇一 TEL (093) 22911八〇四 TEL (093) 22911八〇四 FAX (093) 22911八〇四 工場 岩手県釜石市鶴住居町第十地割三〇一 TEL (093) 22911八〇六 TEL (093) 22911八〇六 FAX (093) 22911八〇六</p>	<p>日華油脂株式会社 代表取締役社長 河合 春彦 名古屋営業所 東京都中央区明石町八十一 TEL (03) 556510四五五 名古屋市中区錦二丁目一八 三井住友銀行名古屋ビル六階 TEL (052) 229196八五 TEL (052) 229196八五 FAX (052) 229196八五</p>	<p>羽二重豆腐株式会社 代表取締役社長 藤原 英二 石川県金沢市西金沢二丁目一六二番地 TEL (076) 249127一 TEL (076) 249127一 FAX (076) 249127四</p>
<p>すくる食品株式会社 代表取締役 宮崎 勇二 東京都目黒区緑が丘二一七 TEL (03) 371816三二(代) TEL (03) 371816三二(代) FAX (03) 371816三二(代)</p>	<p>ティーオー食品株式会社 代表取締役社長 高橋 正則 東京都豊島区南長崎一丁目二四 TEL (03) 395211三八一 TEL (03) 395211三八一 FAX (03) 395018六九三</p>	<p>株式会社 ニッコイ 代表取締役 山崎 雅史 神奈川県大和市代官一丁目一〇一三 TEL (046) 269102七(代) TEL (046) 269102七(代) FAX (046) 269102八(代)</p>	<p>株式会社富士サービス 代表取締役 山本 清英 大阪府中央区安土町二丁目三十一 大阪国際ビルディング三階 TEL (06) 496412六九 TEL (06) 496412六九 FAX (06) 496412〇四六</p>
<p>ISO9001認証取得 大栄食品株式会社 代表取締役 吉村 猛 本社工場 岐阜県羽島郡笠松町門間二八八 TEL (058) 388113六六 TEL (058) 388113六六 FAX (058) 388113六六 岐阜工場 岐阜市東鶯二丁目二五番地 TEL (058) 276137〇二 TEL (058) 276137〇二 FAX (058) 276137〇二</p>	<p>テーブルマーク株式会社 名古屋支社長 新井 政行 名古屋市中区伊勢山二丁目二一 JT名古屋ビル三階 TEL (052) 33411三〇 TEL (052) 33411三〇 FAX (052) 33411三〇</p>	<p>日東ベスト株式会社 代表取締役社長 大沼 一彦 名古屋支店 名古屋市熱田区千代田町一七番八号 TEL (052) 682128四一 TEL (052) 682128四一 FAX (052) 682139六八</p>	<p>株式会社フジサニフーズ 名古屋支店 坂田 弘之 名古屋市中川区宮脇町二丁目七五番地二 TEL (052) 369124三四 TEL (052) 369124三四 FAX (052) 369124三四</p>
<p>株式会社 大冷 名古屋支店 支店長 竹内 奈儀左 名古屋市中区錦一丁目一七 三同ビル錦八階 TEL (052) 221816七七 TEL (052) 221816七七 FAX (052) 221816八二</p>	<p>天狗缶詰株式会社 代表取締役社長 伊藤 圭太郎 名古屋市中区金山一丁目二一 金山総合ビル六階 TEL (052) 300155五五 TEL (052) 300155五五 FAX (052) 300155五五</p>	<p>日本水産株式会社 名古屋支社 支社長 三谷 拓己 名古屋市中村区名駅三丁目二一八 TEL (052) 561153〇〇 TEL (052) 561153〇〇 FAX (052) 561153〇〇</p>	<p>天然調味料メーカー 株式会社マルハチ村松 代表取締役社長 村松 善八 静岡県焼津市下江留一〇〇一 TEL (054) 621737一 TEL (054) 621737一 FAX (054) 62176九一</p>

謹賀新春

2016年 元旦

旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

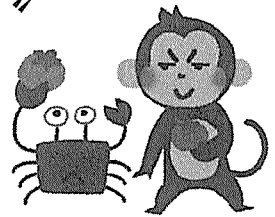
本年もよろしくお願ひします



<p>マルハニチロ株式会社 中部支社</p> <p>支社長 福井 雅 紫</p> <p>名古屋市中区栄一丁目九一六一階 TEL (052) 3307187 FAX (052) 3307187</p>	<p>三島食品株式会社 名古屋営業所</p> <p>所長 中村 和 敏</p> <p>名古屋西区枇杷島五三〇一 TEL (052) 5241088 FAX (052) 5241455</p>	<p>株式会社 Mizkan 名古屋支店</p> <p>支店長 西山 三 晴</p> <p>名古屋市中村区名駅五二二一九 TEL (052) 5661348 FAX (052) 5661349</p>	<p>株式会社ヤヨイサンフーズ</p> <p>代表取締役社長 川島 義 則</p> <p>東京本社 東京都港区芝大門一丁目十一 TEL (03) 54001150 支店 東京都中央区芝大門一丁目十一</p>	<p>理研ビタミン株式会社 名古屋支店</p> <p>支店長 西川 眞 人</p> <p>名古屋市中区栄四二二二九 TEL (052) 3381376 FAX (052) 3381377</p>
<p>六甲バター株式会社</p> <p>取締役 岡田 裕 之</p> <p>神戸市中央区坂口通二丁目三番二号 TEL (078) 2311465 FAX (078) 2411379</p>	<p>業務用食品取扱 株式会社工テイオック</p> <p>代表取締役社長 小出 眞 彰</p> <p>名古屋市中川区柳川町一五二四 TEL (052) 6821866 FAX (052) 6821867</p>	<p>希望運輸株式会社</p> <p>代表取締役社長 鶴見 秀 明</p> <p>名古屋南区丹後通五丁目八番地の一 TEL (052) 6211279 FAX (052) 6211280</p>	<p>高瀬物産株式会社</p> <p>代表取締役社長 高瀬 知 康</p> <p>東京都中央区築地二一八 TEL (03) 35451753 FAX (03) 35451753</p>	<p>有限会社中部淡水</p> <p>取締役会長 水野 尚 樹</p> <p>名古屋市昭和区白金一〇〇六七 TELEFAX (052) 8811067</p>
<p>株式会社ツルミ企画</p> <p>代表取締役 鶴見 佳 利</p> <p>名古屋市緑区鳴海町字諸の木八三二七六 TEL FAX (052) 8771218</p>	<p>有限会社 林食品商会</p> <p>豊田市堤町上町一〇二番 TEL (0565) 5214618 FAX (0565) 5215301</p>	<p>株式会社名給</p> <p>代表取締役 青木 基 博</p> <p>名古屋市熱田区新尾頭二丁目二番六一 TEL (052) 6811731 FAX (052) 6811734</p>		

今年の干支

「申」のストーリー



人との関わりの深い「さる」

なりそうです。

◎今年の干支は「申」

今年申年。「申」は十二支としては第九番目、方位は西から三十度南の方角（南南西）を示します。時刻は暮れ七つ……といっても、この頃では馴染みのない言い方となつてしましますので言い換えると、だいたい午後四時頃の前後二時間（三時から五時くらい）を指します。そして、動物では「猿」をあてます。

「申」という文字には「伸」と同じく「まっすぐに伸びる」という意味を持っています。また、様々な場所でも言われていますが、「さる」と読むことから「去る」という言葉を連想させて「難が去る」などという意味合いも含み、様々な場面で期待が寄せられる年と

◎「申年」と「赤」

今年よく目にするのは、「十二年に一度の申年に、赤い肌着を贈ろう」という内容の宣伝文句。全国各地でその細かい内容については様々ですが、総じて「申年に赤い肌着を贈ると、難や病が去る」「申年に赤い肌着を着ると、病や難が去る」という言い伝えがあるそうです。そこに目をつけて、各肌着メーカーが中心に声を上げているようです。

もともと、赤という色は赤飯や紅白からも分かる通り、魔よけの色であり、縁起の良い色として考えられています。お正月にはおせち料理で紅白のかまぼこを口にした方も多いのではな

いでしょうか。この赤を縁起の良い色として捉えているのは日本だけではありません。

中国でも同じように厄除けの色として、また、縁起の良い色と考えられており、結婚式では赤い飾り付けをして、新郎新婦は赤い衣装をまといます。韓国でも赤色は、悪鬼を退ける色として考えられているようです。

こういった「赤」と「申」の謂われが「申年に赤い肌着」という言い伝えとなっているのでしょうか。

◎サルを食べる？

さて、そんな「申」について先にも述べましたが、ご存知の通り動物では「猿」をあてます。

「猿」は「人間によく似た哺乳動物（の総称）。あと足で立つたり前足で物を握ったりすることが出来る。種類が多い。」（三省堂・新明解国語辞典より）とあるように、ヒトとよく似た動物です。そして、古くから人里にもよく姿を現し、身近な動物の一つでもありました。

今では「サルを食べる」というと「ゲテモノ食い」のような感覚になる方が多いと思いますが、日本にはサルを食べていた時代もあるようです。

天武天皇の治世（六七五年）に最初の肉食禁止の勅令が公布されていて、「今後、漁獵する者は檻や奔（落とし穴）、機械仕掛けの槍等を造つてはならない。…（中略）：牛・馬・犬・猿・鶏の穴（しし）を食つてはならない。…（中略）：もしこれを犯す者が有れば罰する」といった内容でした。この勅令を見ると、サルも牛や馬などの動物と同列で記されています。ここから、

同様に食べられていたのではないかと推察されます。

仏教思想の伝来とともに日本ではいつしか肉食禁止の風習が広まり、江戸時代にはイノシシやシカを「薬食い」と称して密かに食べることはありましたが、人と似たような姿をしたサルを食べることは少なかったようです。しかし、またぎなどの山の民にとっては貴重な食料であったことも事実でした。また同時に彼らはサルを撃つことを、「産子（うぶご）にたたる」「火事になる」などと信じて嫌ってしまいました。

そして、世界ではサルを食べる習慣がある地域や民族は現存します。映画に登場したことでも有名なのが「猿脳（えんのう）」というもので、こちらは高級料理となつています。そのため、密猟も多く行われていましたが、一九七七年に法制が厳しくなったことや、動物愛護者たちからの批判で密猟は急減したといわれています。

◎柿の種とおにぎりの交換
「サルと食」の関わりと
いえば、日本の民話には『猿
蟹合戦』があります。

カニがおにぎりを持って
歩いていると、サルが柿の
種(そこで拾った柿の種)
と交換しようと持ちかけ
た。カニは嫌がったが、種
を植えれば成長して柿がた
くさん成って得をするとい
うサルのおいしい言葉に、
カニは交換に応じた。

それからカニはその柿の
種を大切に育て、成長した
木には柿がたくさん成っ
た。そこへサルがやって来
て、カニは木に登ることが
できないから自分が代わり
に取ってあげようと言いい
木に登ったが、サルは自分
が食べるだけでカニには全
くやらす、青くて硬い柿の
実をカニに投げつけた。カ
ニはそれがもとで死んでし
まった。

そこでカニの子供たちは
栗や臼、蜂などと共に親の
敵を討つ……。

ずる賢いサルがカニを騙
して殺害し、殺されたカニ

の子供たちに仕返しされる
という「因果応報」がテー
マとなっている話が一般的
です。

この話を芥川龍之介が取
り上げ、短編小説『猿蟹合
戦』を書いていますが、そ
の作品の結末はかなり衝撃
的です。カニたちは親の敵
のサルを討った後、逮捕さ
れてカニは死刑、共謀した
臼、蜂、卵らは無期懲役に
処せられたとしました。そ
の理由は、おにぎりと熟れ
た柿を交換とした条件を取
り交わした書面がない。サ
ルは青い柿を投げたが、そ
こに殺意の有無があったか
どうか、カニの一方的な誤
解であり、カニの私憤かも
しれない。

仇討は明治時代に入り法
律で廃止されており、芥川
龍之介は法律違反というこ
とでそんな結末にしました。

民話では、サルは悪者
で、カニたちは正義のため
に戦うヒーローのように見
えますが、法律という枠組
みの中に当てはめると、こ
んな風になるのだという

ことを、芥川龍之介はカニ
が死刑になるという展開に
して、善悪とはなにか、正
義とはなにかという問題を
問い掛け、人間社会におけ
る教訓として示し、おもし
ろみを加えているのです。

元々の民話にも様々なパ
ターンがありました。現
在ではこの民話をどうやっ
て子どもたちに伝えていく
か考えた上でも様々な変化
が加わっていて、いろいろな
展開や結末になっている
ようです。中には、サルも
カニも死なない物語もある
とか。

この『猿蟹合戦』にちな
んで「南信州 de さるかに
合戦」というバスツアーを
考え出した観光バス会社が
あります。民話にちなんで
観光施設をめぐり、民話の
抒情を味わえる日帰りツ
アーということです。

申年の今年、サルに関わ
る物語や謂われを探してみ
るのもおもしろいかもしれ
ません。意外と身近に関
わっているものが多い印象
を受けます。

◎身近な存在のサル

そんな身近な存在である
がゆえに農作物被害も話題
に挙がります。近年、中山
間地域を中心に鳥獣被害が
深刻な状況にあり、その被
害額は年間二百億円超にも
なるといわれます。サルに
よる被害は全体の一九%に
過ぎませんが、農作物被害
ばかりでなく、家屋への侵
入や人慣れが進むと人から
物を奪い取ったり、危害を
加えることもあります。農
作物をちよつと齧(かじ)っ
て放り投げることもあるそ
うです。

地域においては、害獣の
追い払い対策としてさまざ
まな取り組みを図ってお
り、犬(モンキードッグ)
を活用したサルの追い払い
や、イノシシ、サルがし好
的に嫌う農作物(例えばト
ウガラシ、ミント、シソ)
を作目を選ぶなど、獣害を
受けにくい農作物(忌避作
物)の作付けと防護柵を組
み合わせることで、被害を
軽減しているところがあり
ます。

中日本給食だより
2016年1月号 No.57
平成28年1月15日発行
編集発行人 中日本学校給食物資流通組合連合会
会長 青木昌博
〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭二丁目2番7号
富春ビル4F
TEL (052) 682-6219 FAX (052) 682-8486

ホームページ随時更新中
 <http://www.aigakuryu.com>
info@aigakuryu.com
愛知県学校給食物資流通協同組合